

お茶の水女子大学の交換留学体験

台湾 国立政治大学

ハン・イモン

10ヶ月の間はあっという間に過ぎました。早いというか、残念というか、充実した留学生活を送っていると思います。

授業については、「日本語・日本事情演習」や「日本語特設クラス」といった留学生向けの授業が、お茶の水女子大学で開設されています。もちろん、正規の学生向けの授業にも、先生の許可を得れば参加することができます。最初は本当に迷いましたが、萩原先生は学期が始まる前に、交換留学生の皆さんと一人ひとり面談を行い、授業の選び方にアドバイスをくれました。日本の大学で初めて勉強する不安は、かなり解消されました。本当に助かりました。



一学年間で一番印象に残った授業は、西坂先生の「日本語演習ⅣA」でした。この授業では参加する学生たちがグループに分かれて、興味を持っているテーマについて、お茶の水女子大学で交流会を開催します。私はいろいろなイベントに参加したことはありますが、自らイベントを行う経験は初めてでした。最初は不安でしたが、グループメンバーと一緒に話し合い、意見を交換し、私たちが考えた最高の交流会を無事に実現しました。参加者たちから「楽しかった」との感想をいただき、達成感はひとしおです。

勉強以外にも、アルバイトをしたり、東京都外で旅行したりしました。そして、友達を作って、みんなさんと一緒に楽しい時間を過ごしました。他国の留学生だけでなく、日本人の学生とも友達になりました。休みの時間は友達と一緒に食事をしたり、勉強をしたりし、たくさん素敵な思い出を作りました。

最後に、指導教官やお世話になった方々にお礼を申し上げます。萩原先生は常に学生の勉強や生活状況を把握し、アドバイスをしてくださり、本当に助けられました。また、萩原先生の授業もとても勉強になりました。いつも親切に教えてくださ

り、心から感謝しています。指導教官の竹村先生はお忙しい中、毎月の振り返りシートを読んで、あたたかいアドバイスをしてくださり、本当にありがとうございます。寮の管理人さんたちは寮生活についてたくさんの支援をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。寮生活だけでなく、日常生活の困難にも全力でサポートしてくださり、心から感謝しています。国際科の



大野さんにも入国手続きを手伝っていただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、私は今ここに交換留学をすることができました。

初めてお茶の水女子大学の校門を入った日は、まるで昨日のこのように思えます。これからも留学生としての経験を大切に、感謝の気持ちを忘れずに成長し続けることを頑張ります。